

新中期経営計画

地域金融機関にとって厳しい環境が続く中、当行は、新たな中期経営計画「トライ☆ミライ！」(計画期間2020年4月～2023年3月)をスタートさせました。

百十四グループは、この中期経営計画のもと、「地域のプラットフォーマー※」として、お客さまや地域社会が抱える様々な課題を金融の枠を越えて解決することで「お客さま・地域との共通価値創造」を図るとともに、業務効率化と人材の戦略的配置によりステークホルダーが笑顔で過ごせる持続可能な未来の共創に挑んでまいります。

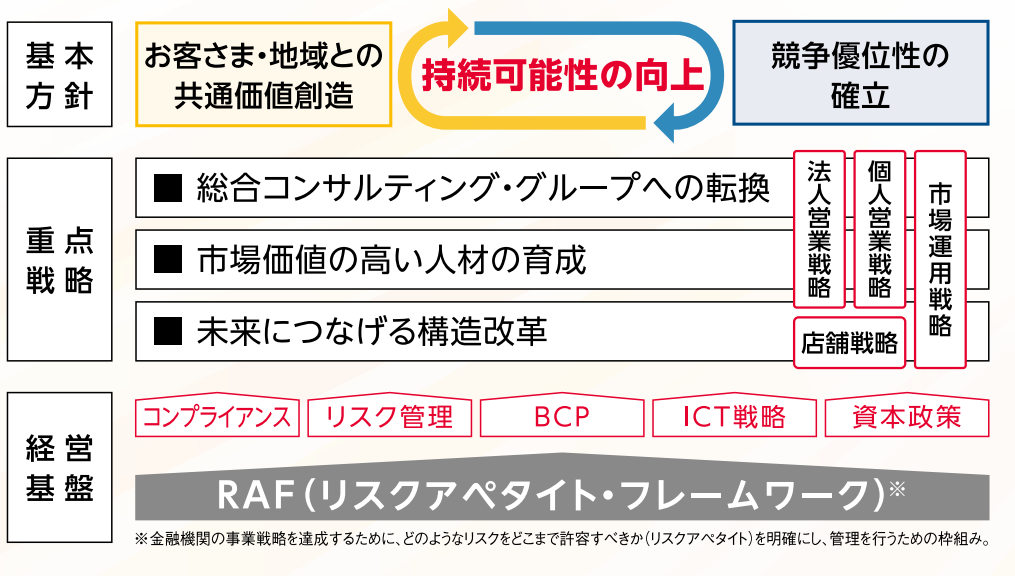
※ 地域のお客さまの様々な悩みを、銀行がもつ基盤や情報をもとにグループ全体で金融の枠を越えて解決を図る姿のこと。

名称・期間



めざすべき姿

当行ならではの新たな価値提供を通じて、
お客さま・地域の未来を共創する
総合コンサルティング・グループ



経営目標(最終年度)

収益性

① 連結当期純利益
60億円以上

健全性

② 連結自己資本比率
9.0%以上

効率性

③ OHR(単体)
75%以下

① 連結当期純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」

② 連結自己資本比率は、経過措置を考慮したバーゼルⅢベースの連結コア資本比率

③ OHR＝経費÷業務粗利益

※ 経営目標の策定にあたっては、一定の前提に基づき新型コロナウイルス感染症の影響を織り込んでおります。